



**産** 救車（救急車）の運用開始！

8月～

妊婦の皆様の不安を軽減し、安心・安全なお産を迎えていただくために、もしもの時があった場合、迷わず救急車（産救車）の要請ができるよう、市立病院と消防本部、健康推進課がタッグを組んで取り組みを行っています。妊婦の皆様には妊娠届を提出していただいた際にリーフレットをお渡ししています。



みかん農家さんをはじめとして、約500名の方々にお越しいただきました！

**み** かんシンポジウム

9/17（土）

世耕 弘成 参議院議員やプラチナファーマーの総田 至氏、国際SDGs推進協会名誉会長の大桃 美代子 氏、マスターソムリエの高野 豊 氏など、有田みかんの振興にご尽力いただいている皆様にお集まりいただき、有田市認定みかんの制度ができるまでや、10年、20年先を見据えたブランド力向上のためのディスカッションを行いました。「有田みかんってやっぱりすごい！」「誇りを持って先へ進んでいこう」と、参加者の皆さんと思いを共有しました。



400年以上続く伝統の上で、チャレンジと成長を繰り返し、地域の誇りをつないでいきましょう！



生産量を維持しながらいかに単価を上げていくか、という話から、戦略的な販売についての話も。

～ この秋、矢櫃地区がアツい！！ ～

**① 照らしやる 矢櫃**  
Yabitsu Light Up Project



これまで、西海岸エリア5つ星プロジェクトの一環として、矢櫃地区の人口減少や空き家などの課題に対し、交流人口や移住者の増加に取り組みしてきました。144人が暮らす小さな集落「矢櫃」は、住民の高齢化により、今では約44%が空き家になっています。しかし、住民はもとより、市外から訪れる方は揃ってこのまちの景観と秘境感に魅力を感じ、素晴らしいと言ってくれます。そう思った来訪者の一人でもある株式会社「タカシヨ」デジタルと地元住民で構成された「くらしやる矢櫃運営協議会」が、この場所の素晴らしさを知ってもらいたい、そして、過疎の現状を克服するきっかけづくりをしようという思いから、地元の方々のご協力の元、8月末の3日間で光を用いたライトアップが実現しました！



**② 矢櫃でお試し暮らしませんか？**

矢櫃には、移住交流拠点施設「くらしやる矢櫃」というお試し居住施設があり、これまで多くの方に利用いただいています。ここでは、素晴らしい海の景観や坂のまちの魅力に触れていただき、地域の方と一緒に釣りやピザづくり体験ができるので、矢櫃や有田市に親んでもらえます。皆様のお知り合いの方で、もし有田市への移住に興味のある方がいらっしゃれば、ぜひご紹介ください！予約方法など詳細はホームページをご覧ください。

経営企画課 TEL 22-3731



**③ 創建350周年記念特別展 南龍神社と矢櫃**

矢櫃地区は、1619年頃に初代紀州藩主の徳川頼宣（南龍院）が二組の夫婦を呼び寄せ、諸役を免除したことが始まりと伝えられています。その恩を忘れないため、頼宣死去の翌年に南龍神社が建てられました。今年創建350周年を迎えるにあたり、特別展を開催中です。

日程 11月27日（日）

9時30分～17時（水曜休館）

場所 郷土資料館 文化福祉センター

TEL 22-3221

ぜひお越しください。学芸員 中西



**こどもスマイル10月生まれ**

元気いっぱいのお子さんを紹介します！

12月生まれの  
お子さん（就学前）募集中！  
氏名、生年月日、住所、電話番号、メッセージ（50字以内）を添えてお申込みください。  
※応募多数の場合は抽選  
※宛先は裏表紙参照  
申込方法/ 郵便・メール・持込  
締切/ 10月末日  
TEL 22-3715



しまだ せな  
嶋田 成那ちゃん  
(2歳)  
やんちゃ坊主で毎日走り回ってる成那くん2歳のお誕生日おめでとう◎これからもお姉ちゃんと仲良くネッ♡



たまき ちろう  
玉置 千尋ちゃん  
(4歳)  
目指せ！47都道府県+海外家族旅行！



しまだ ありさ  
嶋田 有紗ちゃん  
(5歳)  
人懐っこくみんなに愛されるあーちゃん5歳のお誕生日おめでとう◎これからも成那と仲良くネッ♡